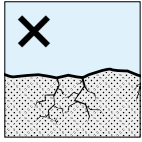


下地のチェックと適合性

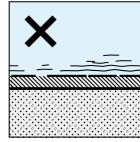
床材の施工は、床下地の状況に大きく左右されます。
 床下地の種類・条件によって、施工方法・接着剤の種類が異なる場合があります。
 施工前の床下地のチェックは、新設・既設を問わず床施工にとって重要なポイントとなります。

モルタル・コンクリート下地の施工前チェック



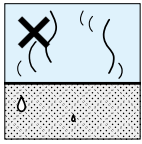
平滑度

床面を平滑に仕上げるためには、コテムラ、凹凸、クラックの有無のチェックが必要です。



汚れ

床面の接着不良や着色・汚染を防ぐためには、溶剤や塗料などが付着していないかチェックが必要です。

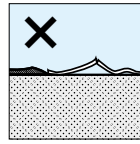


乾燥度

床面の接着不良や剥離を防ぐためには、下地の湿気・残留水分などのチェックが必要です。

(下地温度5℃以上、含水率8%以下*)

*詳しくはP.130「下地含水率測定判断の目安」をご覧ください。



表面強度

床面の接着不良を起こさないためには、下地表面のレイタンスなどのチェックが必要です。

その他の下地の施工前チェック

- 木質下地…………… たわみ、反り、目地の段差・開きがないか。
- 金属下地…………… さびが発生していないか、また防錆処理が施されている場合はその塗料の種類は何か。
- セルフレベルング下地… 乾燥度や表面強度の度合い。
- テラゾー下地…………… 破損、汚れ、ワックスの付着、不陸のチェック。
- 塩ビ床下地…………… 硬さ、平滑度、汚れ、ワックスの付着、破損のチェック。(クッションフロアや、表面にエンボスがある場合は施工不可)

床材と下地の適合性

| 商品名 | 下地(○:施工可能 ×:施工不可) | | | | | | 床暖房 | |
|------------------|-------------------|------------|-------------|-----------|-----------|--------------------|--------------------------|--|
| | モルタル コンクリート | 塩ビ床 注1) | テラゾー 注2) | 合板 注3) | 鉄板 注4) | 床暖房 | | |
| | | | | | | コンクリート モルタル埋設方式 | 合板捨貼り工法 (ガス温水マット方式など) | |
| アームストロング リノリウム | ○ | × | × | ○ | × | ○ | ○ | |
| サンビオス | ○ | × | × | ○ | × | × | × | |
| インタータフシート | ○ | × | × | ○ | × | × | × | |
| メディントーン・フェイスバリット | ○ | × | × | ○ | × | × | × | |
| コネクションコーロン | ○ | ○ | ○ | ○注5) | ○ | × | × | |
| ニューテッセラコーロン | ○ | ○ | ○ | ○注5) | ○ | ○ | ○ | |
| ノラブラン | ○ | × | × | ○ | × | × | × | |
| ノラメント | ○ | × | × | ○ | × | × | × | |
| アルトロセーフティーフロア | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | |
| アルトロスプリーマ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | × | |
| インプレッションコンフィ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○注6) | ○注6) | |
| レックスコート | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○注6) | ○注6) | |
| スポール ゴムタイル | ○ | × | × | ○ | ○ | × | × | |
| スタンダードエクセロン | ○ | × | × | ○ | × | × | × | |
| インタータイル | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○注6) | ○注6) | |
| インタークリック | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○注7) | ○注7) | |

注1) 既存床の汚れ・ワックスは完全に除去してください。また、下地に完全に接着して表面が平滑になるよう施工してください。
 なお、既存床がクッションフロアや表面にエンボスがある場合は施工できません。

注2) テラゾー表面についたワックスや汚れは完全に除去し、下地調整剤で表面処理し平滑に仕上げてください。

注3) 根太のピッチが30cm以内で、JAS耐水1類合板(12mm厚×2枚)の強度があるようにしてください。

注4) さびや汚れなどは完全に除去してエポキシ樹脂系接着剤を使用してください。なお、防錆塗料の種類によっては接着不良の原因となりますので事前に確認してください。

注5) 根太を組む場合は、注3)を厳守してください。下地のたわみが原因で、床材の層間剥離などを引き起こす可能性があります。キャスター走行の激しい場所などでは、特に注意してください。

注6) インプレッションコンフィ、レックスコート、インタータイルは長時間放熱の妨げになるもの(ふとん・カーペットなど)を置くと変色するおそれがありますのでご注意ください。

注7) インタークリックは、壁との取り付け部および20mごとに必ず隙間を確保してください。また、長時間放熱の妨げになるもの(ふとん・カーペットなど)を置くと変色するおそれがありますのでご注意ください。